

開設講習名	【選択】サイエンスミュージアム教材活用術		講師	松本 浩	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開設日	平成 29 年 8 月 9 日		時間数	6 時間	受講予定人数 20 人
受講者募集期間	平成 29 年 5 月 26 日～平成 29 年 6 月 3 日		履修認定時期	平成 29 年 9 月 30 日まで	
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	小学校教諭		
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			

【到達目標】

サイエンスミュージアム(科学館)が持っている装置を実際に活用し、それらを小学校理科における地学分野の授業で活用できるようになる。また、実習を通して技術を身につけ、学校現場で児童に指導ができるようになる。

【講習の概要】

1 導入

サイエンスミュージアム(科学館)が持っている装置や教材の紹介と活用例について説明する。

2 アンモナイトのレプリカ制作①(実習)

- (1)アンモナイトが生息していた時代や分類について説明する。
- (2)博物館におけるレプリカ資料の目的などについて説明する。
- (3)シリコンゴムを使って、アンモナイトのレプリカを作るための凹型の制作を行う。

3 流水実験(実験・観察)

- (1)川の上流域に見立てた流水実験装置を用いて、水の浸食・運搬・堆積作用の実験を行う。
- (2)川の下流域に見立てた流水実験装置を用いて、(1)と同様の実験を行う。
- (3)その後、結果を観察するとともに、二つの装置の違いや使用する土砂の種類(真砂土、砂)の違いから、それぞれの装置を使う理由と、その有用性などについて考察する。

4 アンモナイトのレプリカ制作②(実習)

- (1)アンモナイトのレプリカ制作①で作成したシリコンゴム型と注型用ウレタン樹脂を使って、アンモナイトのレプリカを作成する。
- (2)補足説明や学校での実習で注意することなどの説明を行う。

【評価の方法・評価基準】

評価の方法: 筆記試験、実技試験(実技は、実習中及び実習後の出来栄をチェックします)

評価基準

合格:川の上流域・下流域の違いから二つの流水実験装置を使用する理由が説明できる。レプリカ制作の技術をきちんと身につけ学校でも児童に指導ができる。

不合格:上記以外

【テキスト・参考文献】

事前にテキスト(資料)を配布予定。

【受講者への伝達事項】

実験ができる服装でお越しください。また、白衣(エプロンでも可)、筆記用具、ノート、探検ボード又はクリップボード、タオル、粘土板、粘土へら、古新聞(1日分)、ハサミ、絵筆(小)を持参してください。